

うなぎ稚魚漁業の許可について

令和 7 年 12 月 8 日

漁業法（昭和 24 年法律第 267 号）第 58 条において読み替えて準用する同法第 42 条第 1 項の規定及び香川県漁業調整規則（令和 2 年香川県規則第 61 号）第 11 条第 1 項の規定に基づき、同規則第 4 条第 1 項第 29 号に掲げるうなぎ稚魚漁業につき、その許可又は起業を認可すべき漁業者の数その他の制限措置並びに許可又は起業の認可を申請すべき期間を次のように定める。

1 うなぎ稚魚漁業

（１）許可又は起業の認可をすべき漁業者の数その他の制限措置

漁業種類	操業区域	漁業時期	漁業者の数	漁業を営む者の資格
瀬張網	鴨部川（別添図 7 のとおり）	2 月 1 日から 4 月 30 日まで	1	県内に住所を有し、農林水産大臣からうなぎ養殖業の許可を受けて自己の営むうなぎ養殖業に係る養殖用種苗を自給する者であって、前年度に香川県知事からうなぎ稚魚漁業許可を受けていた者
	土器川、青海川及び神谷川（別添図 2 のとおり）		2	
	相引川		1	
	相引川、綾川、新川、春日川、香東川、本津川		1	
	住吉川、香西北小川		1	
	大束川、弘田川		1	
	金倉川、西汐入川		1	

（２）許可又は起業の認可を申請すべき期間

令和 7 年 12 月 8 日～令和 8 年 1 月 7 日

(3) 備考

ア この公示に係る許可の有効期間は、令和8年2月1日から令和9年1月31日までとする。

イ この公示に係る許可又は起業の認可には、おおむね次に掲げる内容の条件を付けることがある。

(ア) 国又は、地方公共団体等が行う公共事業の施行については、正当な理由がなければこれを拒んではならない。

(イ) 「うなぎ稚魚（13センチメートル以下のもの、以下同様）」以外を採捕してはならない。

(ウ) 採捕した「うなぎ稚魚」は他に売却譲渡してはならない。

(エ) 「うなぎ稚魚」養殖のための養殖池を完備のうえ採捕しなければならない。

(オ) 同業者間の申し合わせ事項を厳守のうえ採捕しなければならない。

(カ) 他種漁業者と協調して採捕しなければならない。

(キ) 県の指示する様式により採捕量と池入れ量を報告しなければならない。

(ク) 大臣許可を受けた池入れ数量を超えて、「うなぎ稚魚」を採捕してはならない。

(ケ) 採捕従事者は別記のうなぎ稚魚漁業採捕従事者証を携帯するものとする。

(コ) 火光利用によるうなぎ稚魚漁業許可を受けなければならない。

(サ) 採捕従事者は火光利用によるうなぎ稚魚漁業と同一の者とする。

(シ) 採捕した「うなぎ稚魚」は、その年の7月31日まで養殖しなければならない。

(ス) 漁業権漁業の区域内では、その漁業の妨害をしてはならない。

(別記)

(表)

(裏)

年うなぎ稚魚漁業採捕従事者証		採捕従事者	
写真 貼付	第 - 号	住 所	
	許可の有効期間 年 月 日から同年 月 日まで 操業区域	生年月日	年 月 日
		許可名義人氏名	(許可番号第)
氏名		漁業種類	
	香 川 県 県印		

別添図2

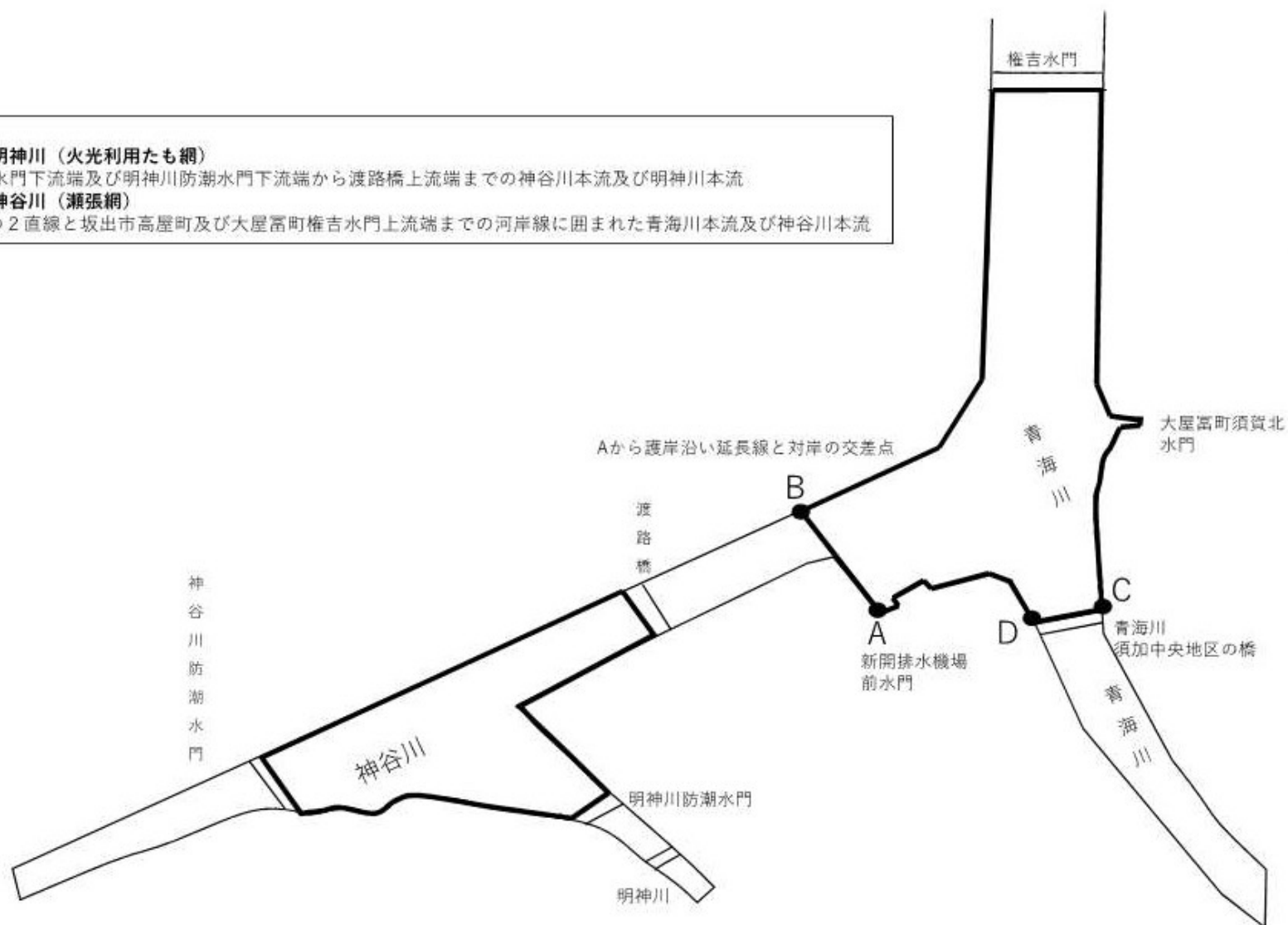
作業区域

- ・ 神谷川及び明神川（火光利用たも網）

神谷川防潮水門下流端及び明神川防潮水門下流端から渡路橋上流端までの神谷川本流及び明神川本流

- ・ 青海川及び神谷川（瀬張網）

AB及びCDの2直線と坂出市高屋町及び大屋富町権吉水門上流端までの河岸線に囲まれた青海川本流及び神谷川本流



別添図7

操業区域 鴨部川

直線ABと昭和橋下流端に囲まれた区域

